

# 館山塾報



〒101-0061

東京都千代田区三崎町二一十八ー九  
 Tel (03) 3264-1863  
 Fax (03) 3264-1863  
<http://www.tateyamajuku2.com/>  
 館山塾

## contents

予定表・冬期講習…………… 1面 冬期講習時間割…………… 2面  
 高校入試情報…………… 3面 館山塾への道…………… 4面

### 十二月～二月の予定

#### 高校一・二年生クラス

12月13日(火)……………	平常講義終了
12月14日(水)～17日(土)……………	高一冬期講習
12月18日(日)……………	休講
12月19日(月)・20日(火)……………	高一冬期講習
12月21日(水)～23日(金)……………	高一・二冬期講習
12月24日(土)……………	休講
12月25日(日)～28日(水)……………	高一・二冬期講習
12月29日(木)～1月3日(火)……………	休講
1月4日(水)～6日(金)……………	高一・二補講
1月7日(土)……………	高一・二総合試験
1月8日(日)……………	休講
1月9日(月)……………	平常講義開始
1月29日(日)……………	新年度講座説明会
2月12日(日)……………	進級試験
2月26日(日)……………	高一・二平常講義終了

※世界史・日本史を受講の方は、次ページの高三冬期講習日程を参照して下さい。

### 十二月～二月の予定

#### 高校三年生クラス

12月13日(火)……………	平常講義終了
12月14日(水)～17日(土)……………	高三冬期講習①
12月18日(日)……………	休講
12月19日(月)～22日(木)……………	高三冬期講習②
12月23日(金)～24日(土)……………	休講
12月25日(日)～28日(水)……………	高三冬期講習③
12月29日(木)……………	休講
12月30日(金)・31日(土)……………	高三冬期講習④前半
1月1日(日)……………	休講
1月2日(月)・3日(火)……………	高三冬期講習④後半
1月4日(水)～7日(土)……………	高三冬期講習⑤
1月8日(日)……………	休講
1月9日(月)……………	平常講義開始
1月13日(金)・14日(土)……………	休講
(1月8日・9日・11日に振替)	
1月29日(日)……………	高三平常講義終了
1月30日(月)……………	高三受験直前講座

### 冬期特別講習のお知らせ

#### 高校一・二年クラス

講義 英数国及び理系物理各科目、6日間、80分授業。  
 補講 1月4～6日

(受講科目に関する欠席分の補習及び発展演習)

試験 1月7日は、英数国に関して、総合試験を実施します。時間割は講習時間帯と異なりますので、受験票で確認して下さい。

★教室割等の詳細は教材配布時にお知らせします。

★講習終了後、平常講義は、翌々日の1月9日(月)から始まります(1月8日(日)は休講です)。

#### 高校三年各クラス

講義 各科目 8日間、80分授業。

★普段受講していない科目も受講できますので、希望者は事務に申し出て下さい。

★講習終了後、平常講義は、翌々日の1月9日(月)から始まります(1月8日(日)は休講ですが一部の振替授業を実施します)。

### お知らせ

#### ★平常講義の終了日

高一・二は2月26日、高三は1月29日となります。但し、高一の社会科目は1月29日となります。

#### ★高三受験直前講座日程

1月30日より、塾生諸君の希望を考慮したオプショナル講座が開設されます。講座内容・日程等の詳細は決定次第掲示でお知らせの上、文書でも通知します。

# 高校生 冬期特別講習時間割

## 2011年度高1冬期講習日程 (英数国は講義6日・補講3日・試験1日)

時間	期間	12/14~17	12/19・20	12/21	時間	期間	12/25~27	時間	期間	1/4~6(補講)	1/7(総合試験)
17:00~18:20			高1数学 A・B	高1数学 A				13:00~14:20		高1数学 A・B	全クラス (詳細は受験票で通知します)
18:40~20:00		高1国語 A・B			17:40~19:00		高1数学 A	14:30~15:50	高1国語 A・B		
20:10~21:30		高1数学 B	高1英語 A・B		19:10~20:30		高1英語 A・B	16:00~17:20	高1英語 A・B		

## 2011年度高2冬期講習日程 (英数国は講義6日・補講3日・試験1日)

時間	期間	12/14~17・19・20	12/21	12/22	12/23・25~28	時間	期間	1/4~6(補講)	1/7(総合試験)	
					14:30~15:50			10:50~12:10	高2物理	全クラス(詳細は受験票で通知します)
17:00~18:20				高2数学 A・B	16:00~17:20			14:30~15:50	高2数学 A・S・B	
18:40~20:00				高2国語 A・B	17:40~19:00			16:00~17:20	高2国語 A・B	
20:10~21:30		高2物理	高2数Ⅲ S・A	高2英語 A・B	19:10~20:30			17:40~19:00	高2英語 A・B	

## 2011年度高3冬期講習日程 8日間(4日+4日)、80分講義(英語と物理総合、化学総合は160分講義)

	英語Aクラス	英語Bクラス	英語Cクラス	数学Ⅱ-A	数学Ⅱ-B	数学Ⅲ-A
期間1	12/30・31、1/2・3	12/19~22	12/14~17	12/14~17	12/14~17	12/14~17
時間1	13:00~15:50	12/25~28	12/19~22			
		18:40~20:00	20:10~21:30	18:40~20:00	18:40~20:00	17:00~18:20
		14:30~15:50	18:40~20:00			
期間2	1/4~7	1/4~7	12/30・31、1/2・3	1/4~7	1/4~7	1/4~7
			1/4~7			
時間2	13:00~15:50	13:00~15:50	14:30~15:50	17:40~19:00	17:40~19:00	16:00~17:20
			19:10~20:30			

	数学Ⅲ-B	物理総合	化学総合	現代文	古典
期間1	12/14~17	12/19~22	12/25~28	12/19~22	12/19~22
時間1	17:00~18:20	14:00~16:50	17:40~20:30	17:00~18:20	15:30~16:50
期間2	12/19~22	12/30・31、1/2・3	12/30	12/30・31、1/2・3	12/30・31、1/2・3
			12/31、1/2・3		
時間2	15:30~16:50	9:20~12:10	16:50~19:40	16:10~17:30	17:40~19:00
			16:10~19:00		

	日本史-A	日本史-B	世界史-A	世界史-A2	世界史-B
期間1	12/14~17	12/14~17	12/19~22	12/19~21	12/25~28
				12/22	
時間1	15:30~16:50	17:00~18:20	20:10~21:30	17:00~18:20	13:00~14:20
				15:30~16:50	
期間2	12/30・31、1/2・3	12/30・31、1/2・3	1/4~7		1/4~7
時間2	9:20~10:40	10:50~12:10	9:20~10:40		10:50~12:10

▲▽ 高校入試情報 — 24年度高校入試について ▽▲

熊倉幹男

中間試験が終了し、次に期末試験、内申決定、受験校決定、冬期講習、正月特訓、直前特訓と受験勉強もピークに向かっていきます。受験校の決定についてはチーフとの相談の上、十分に検討する必要があります。今までも機会があるたびに確認してきた内容ですが、ここでもう一度来年度入試の注意すべき点などについてあげておきます。中1、中2の方も内容をよく見ておいてください。

(1) 都立高校の定員

中3の生徒数が昨年より若干増えていますので、定員は増加しました。ただし、1クラス増設する高校は中堅から低位校になりますので、上位を目指す受験生にとっては若干厳しい入試になることが予想されます。旧第1～5学区で1クラス増設される高校は大崎、八潮、千歳丘、光丘、豊島、向丘、板橋、江北、足立西です。

(2) 都立推薦入試

教育委員会からの指示で作文、小論文を実施する高校が増えました。今年度の入試で新たに10校が、来年度はさらに22校が加わり、合計70校が実施することになりました。内容は高校によってそれぞれ特徴があり、十分に準備しておく必要があります。例えば、

「あなたが将来お年寄りと住むとしたら、あなたは何かができますか。また何をしたいですか。」(50分400字、白鷗)

のように、日常的な問題について考えておく必要のあるものや、

「生きるということは徐々に生まれることである。」(サン・デグジュペリ)の言葉について自分の考えをのべよ。(50分600字、西)

「波」について。(50分600字、駒場)

のように、抽象的なものとのとらえ方に慣れていないと大変書きにくいものもあります。小論文は表やグラフ、説明などがあり、その内容に関する問題に答える形になっていて、社会、理科に関わる問題が多くなっています。受験する場合は、十分に練習して臨みましょう。

(3) 私立高校の入試日程

併願推薦が併願優遇に変わり2月10日以降の受験になったため、入試日を複数設定する高校が増えました。また、第二志望になる高校はどの試験日でも都立併願、または私立併願が可能なところが多いので、各高校の入試要項または説明会でよく確認をしてください。

前回の塾報でお知らせしましたが、青山学院の入試が2月12日から11日に変更になりましたので、11日の上位校は競争率が下がり12日の上位校は上がることが予想され難易度が従来と多少変わる可能性がありますので、注意が必要です。

(4) 自校作成校の3教科

次ページの表は自校作成問題の3教科平均点をあげました(理社は共通問題です)。年によって、また科目によってバラツキはありますが、大体5割から6割前後に集中しています。優秀な生徒が受験した上での平均点ですから、かなり難しいということがわかると思います。また記述式の解答は日頃からの考え方、答案の書き方が出来ていなければ対応出来るものではありません。中1、中2の諸君も一度問題を見ておくと良いでしょう。

自校作成校の競争率は大体2倍前後になっていますので、合格基準点は平均点前後であると思われます。

[4ページへ →]

[→ 3 ページから]

都立自校作成校の過去5年の受験者平均点

日比谷	国語	数学	英語	戸山	国語	数学	英語
23年度	71	64	64	23年度	65	55	70
22年度	63	45	53	22年度	75	52	60
21年度	63	50	64	21年度	68	57	57
20年度	60	51	68	20年度	63	36	63
19年度	63	50	65	19年度	63	45	59
青山	国語	数学	英語	新宿	国語	数学	英語
23年度	60	52	62	23年度	64	49	79
22年度	61	52	70	22年度	59	53	77
21年度	62	48	59	21年度	59	48	62
20年度	70	57	61	20年度	58	54	55
19年度	61	53	50	19年度	55	47	56

(5) 今後の日程

これからの入試、合格発表までの日程をあげておきます。

11月下旬 期末試験

11月下旬～12月上旬 中学校での三者面談、受験校決定

12月15日～ 中学校の先生が私立高校と入試相談を行い、単願推薦、併願優遇の確認を行う。

1月22日 私立高校推薦入試

1月24日 都立高校推薦入試

2月10日 東京都の私立高校一般入試開始

2月23日 都立高校一般入試

2月29日 都立高校発表

健康に気を付けて最後まで気を抜かず頑張りましょう。

▲▽ 30年前の合格体験記 — 館山塾への道 ▽▲

栗生田明子

私は不機嫌な女子高校生だった。小学校で某女子大の附属校に入って以来、受験知らずで高校まで来てしまったが、このまま何も考えずにレールの上を大学まで行ってしまっているのか、という疑問は大きくなるばかり。何かにつけて「世間知らずの温室育ち」と言われるのにはうんざりだったが、でも、確かにその通りの無知な自分に苛立っていた。

「外に出なくちゃ。」高校生になって、まずはとにかく、家と学校との往復からはみ出そうと思った。新聞と朝日ジャーナルを読み、様々なニュースの現場、政治集会・デモを覗きに行き、時にはデモに飛び入り参加。地域のボランティア活動や遺跡の発掘にも行ったし、蕎麦屋やガソリンスタンド、神社などでアルバイトも体験。高1の春休みにイスラエルのキブツに行ったのが最大の遠出だったろうか。とにかく、自分の目で実社会を垣間見ようと、片っ端からいろいろなことに首をつっこんでみた。もちろん、面白かった。でも、学校の外を知れば知るほど、附属高校という「温室」のぬるさが、ますます我慢できなくなってしまった。

何より不満だったのは学校の授業の大半がつまらないことだった。「不毛な受験勉強にとらわれず、豊かな人格形成ができる」というのが学校の「売り」だったが、私が見る限り、「受験がない」ということは授業に緊張感を無くし、教師と生徒双方の怠慢を助長しているだけのようだった。美しい建て前と、綻びだらけの内実の乖離を、見て見ぬフリをするかのような教師たち。それでいいのか？高2の時、遂に私は全校朝礼で「うちの学校、これでいいのか？」と現状批判の演説をぶち、更に「わが校の現状に対する私見」というタイトルの、400字詰め原稿用紙40枚以上もある意見書を書いて校長室に提出した。我ながら、どれだけ暇だったんだろう、と今更ながら呆れかえる。(なお、校長は、後日数時間かけて私の話を聞き、意見をかなり認めてくれた。私は校長と一緒に学校を出て、とっぷり日の暮れた

[5 ページへ →]

## 〔→ 4 ページから〕

駅前であんなで蕎麦をすすって別れた。)

そして私が校長室に呼ばれた翌日、担任(私が唯一授業をサボらなかった世界史の教師)が私を社会科研究室に呼んで言った。「おまえさあ、早くオトナになれよ。こんな所で暴れてもエネルギーの無駄使いだろ。ここが嫌なら、ここを変えることを考えるより、ここから出ていくことを考えろ。勉強して、自分の力で外に出てみる。」—— 既に高2の秋。系列大学への内部推薦の第1次希望調査用紙が配られる時期だった。研究室の窓から西日に輝く紅葉を見ながら、私は決めた。よし、内部推薦は蹴る。外部受験だ!

・・・というわけで、自称・受験生となった私は、高2の1月に生まれて初めて「模擬試験」というものを受けてみた。河合塾の全国統一模試で、英語は辛うじて成績優秀者に入ったが、他は撃沈。普通の受験校にいたら進路指導の先生にダメ出しされるどころだろうが、私の場合、模試の結果を「みってくれる人」も「みる目」も無い。その無知ゆえに私は、「うん、英語は使えそうだし、他も、まだあと1年あるから大丈夫。」と、全くへこまなかった。これだから世間知らずは恐ろしい。ただ、さすがに、5教科7科目の共通一次試験(現在のセンター試験に当たる)と二次試験を課す国公立大を現役で目指すのは無理だと判断する常識くらいはあったので、英・国・社の3科目で受験できる私立大学に目標を絞ることにした。私大文系で、文化人類学が学べて、自分の好きな本を書いた先生の授業が受けられる大学・・・ということで、関西の南山大学、東京の成城、上智大学などが志望校として見えてきた。

だが、一人手探りで計画性に乏しい勉強をしているうち、あつという間に高3を目前にした春休みが来てしまい、さすがの私も焦った。このままではまずい。学校が受験と無縁である以上、受験に必要な知識と情報をどこかで「効率的に」手に入れねば間に合わないぞ。河合とか駿台とか、どこか通わないと・・・でも、大手はなんか気が引けるな〜、と思っていたある日、ふと新聞を開いたら、はらりと落ちたのが「館山塾」の緑色のチラシだった。今から考えても不思議だが、そのとき、鉛筆を握る手の館山ロゴに、「ピンと来た」のである。「ここに行けば何とかなるかも」と。「少人数制責任指導」というのも、大教室だと必ず寝てしまう私にとっては最適だったし、「今年度から私大文系コース設置」という文言も、まさに自分を呼んでいるかのようなようだった。(勝手なものである。)

翌週、鬱陶しい雨の日だったが、市谷の自宅から水道橋までトボトボと歩いて入塾説明会に向かった。親にはまだ内緒。ビルの一室、30人くらい入る教室の後ろの方に座って説明を受けた。指導方法や合格実績を聞くと、とてもレベルが高そうだったので、そもそも入塾試験に通るのか不安になってきた。でも、「私大文系コース」の試験科目は「英語」と、「国語じゃなくて小論文」と聞いて「よっしゃ」と思った。私は文章を書くのは得意だったが、「国語のテスト」というのが大の苦手だったのだ。(現国はいつも模範解答に納得できないし、古典は知識ゼロ。) ともかく、お小遣いで受験料を払い(当時としては痛い出費)、入塾試験を申し込んだ。

入塾試験は英語が嫌がらせのように難しく、こりゃダメだ、と思った。小論文は何とかまとめたものの、合否は全く予想がつかなかった。考えてみたら、合否判定が出る筆記試験を受けるなんて、初体験。発表を見に行く時もちよっとドキドキした。発表は、やはり雨の日。母と神田に出掛けた帰り、「実は、塾の試験受けてて、今日合格発表なんだけど、これから見に行ってもいい? たぶん落ちてるけど」と、初めて打ち明け、呆れる母を引っ張って水道橋へ。

結果は・・・受付正面の掲示板の最上段に自分の受験番号が見えたので、「受かってる(心の中でガッツポーズ)」と言ったら、母は信用できないらしく、「これ、本当に受かってるんですか?」と近くにいた白衣のハンサムな先生に受験票を見せて確認する始末(失礼な!)。その先生が、現塾長の胡子先生だった。「ええ、受かってますよ。1番で。」・・・後になって胡子先生に確認したところ、たまたま私の受験番号が一番上に書いてあったので、咄嗟に「1番」と出まかせを仰っただけらしい。しかし、とにもかくにも、それで親はすっかり気を良くしてしまい(単純である)、それなら外部受験も応援してやろう、塾にも通わせてやろう、という流れになった。胡子先生、ナイスハッターである。いや、大感謝である。

そんなこんなで、私は晴れて館山塾生となり、週に一度、木曜日に「私大文系コース」の「英語」と「国語」の授業に出席することになったのだった。 ~つづく?~